

平成 26 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅡ講座 准教授
氏名 Name	菅原由美
専門分野 Academic Field	インドネシア史

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容
<p>1. 昨年度に引き続き、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所の共同研究課題「ジャワ語テキストにみるジャワの宗教変容」の代表を務め、平成 27 年 2 月に、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所において、同上のテーマで海外から 10 名のジャワ語文献を扱う研究者を招聘し、国際シンポジウムを開催した。このシンポジウムにおいて、これまで作成進めてきたジャワ語テキストコンコーダンスの紹介をおこない、海外の研究者の協力を要請した。また、3 月末にジャワ語文献研究シリーズ Javanese Studies Series: Contributions to the Study of Javanese Literature, Culture and History を立ち上げ、第 1 巻と第 2 巻を出版した。前述の国際シンポジウムの成果も、このシリーズの一つとして 27 年度に出版する予定である。個人研究としては、17 世紀のイスラーム写本研究を読み直し、当時のジャワにおけるガザリーの書の捉え方についての研究をおこなった。これについては研究継続中である。</p> <p>2. 科研「写本の分布から見る西スマトラのイスラームに関する基礎研究」(基盤 B 平成 23 年度～26 年度)は、9 月にインドネシアのパダンで国際シンポジウムを開催し、アンダラス大学との共同チームとともに、3 年間の写本収集の成果を発表した。個人としては、18 世紀の西スマトラの経済的変化と宗教の関係について、イスラーム写本を史料として、既存の研究の読み直しをおこなうことを提案した(同様のテーマでジャワでのケースとの比較をおこなう論考を、5 月に "Islam and the Dutch impact in the early 19th century: the cases of West Sumatra and Central Java" というタイトルで「19 世紀前半「世界不況」下の貿易・貨幣・農業：ユーラシア東南部における比較と関連」2014 年度第 1 回国際ワークショップで発表した)。写本のカタログ出版については、草稿は 3 月末に出来上がったが、出版準備は 27 年度に継続しておこなう予定である。</p>	